

平成23年度 第7回

川合市長と語り合うタウンミーティング

～ 商店街の活性化・にぎわいの創造～



日時：平成23年10月18日（火）

午後7時00分～8時30分

場所：川越商工会議所 会議室

## 参加者

川越商店街連合会の皆さん 19名

## 出席者

市長、宍戸副市長、市長秘書、市民部長、産業観光部長、産業観光部副部長

## 意見数

分類	件数	内容	頁
保健・医療・福祉	2	保育園の給食の食材納入業者	2
		野良猫対策	6
教育・文化・スポーツ	2	旧霞ヶ関北小学校跡地	4
		ふれあい拠点施設の多目的ホール	26
都市基盤・生活基盤	13	街並みの景観	6
		中央通りの整備	8
		都市計画道路	11
		屋外広告物	11
		本川越駅西口の整備	15
		川越市駅の整備	15
		雨水貯留槽の設置	15
		都市計画道路の見直し	18
		J Rの踏切	21
		石張り舗装道路の修繕	24
		クレアパークの拡充	24
クレアパークの利用方法	25		
コンパクトシティ	26		
産業・観光	14	ヤオコーの出店状況	4
		商店街の老朽化	6
		観光事業	8
		観光の経済効果	8
		川越まつりの観光客	10
		織物市場の整備	14
		わくわく商品券	15
		川越市内の生鮮三店の現状	16
		ふれあい拠点施設	16
		今後の商業のあり方	19
		来年の川越まつりの計画	21
		ふれあい拠点施設に福祉センターの施設を	21
ふれあい拠点施設に商業会館を	21		
ふれあい拠点施設のにぎわい施設	26		
環境	1	放射能に関する情報の入手	2
地域社会と市民生活	2	タウンミーティング	16
		放置自転車対策	24
行財政運営	3	入札制度	11
		税金を安く	14
		商店街連合会を指定管理者に	26
計	37		

## 意見交換（要約）

《放射能に関する情報の入手、保育園の給食の食材納入業者》

川合市長 皆さんのほうがなければ私のほうから。

この間、1カ月ぐらい前にある人から3駅統合のプランの提案を受けました。ご承知のように川越市駅と川越駅と本川越駅ですが、総工費が2,500億円ぐらいかかるという壮大なプランで、これをやったらいいのではないかというお話をいただいたのですが、今の状況だと3駅を統合すると人の流れが全く変わってしまって、それぞれの商店街のにぎわいがなくなってしまうのかなと、そんなことも思ったりしているのですけれども。

今度、ふれあい拠点施設が川越駅西口にできて、そこに民間の施設も、まだ具体的には決まっていないのですが入る予定です。そういうこともあると今度は東口の人の流れにも影響が出てくる可能性がある、そういうのをどうやってカバーしていったらいいだろうかと、そういうようなことも考えなければならない課題ではあるのですけれども、そういうことも含めて周辺の商店街では、高齢化が進んだ関係で来てくれるお客さんが減ってしまったとかいろいろ悩みもおありだと思いますが、そういうような問題も含めていろいろとご意見をいただけたらと思います。

意見 高階地域の東部ブロックの副会長をしています。私どものほうの商店街の説明と、一点お伺いしたいことがありますので、二点ほど申し上げます。

私どもの現状としましては、高階地域ではスーパーいなげやさんと飯田百貨店さん、あと小さいスーパーが何軒かあるという状態で、大体商店数は43店になるんですけれども、年齢とともに去年亡くなった方が3人いて、今現在10店舗になっちゃったんです。上福岡の駅に近いものですから、周り中から押し寄せられちゃっているみたいな形でやっているんですけれども、駐車場と郵便局が近くにあるということなので、月2回の特売をやってどうにか商店街を維持しているという状況なんです。説明としてはそんなところなんですけれども、高階地域全体がちょっと、その商店街からも抜けていく人があって、今までの個人の商店がちょっと寂しいかなという印象を私は受けております。

それともう一つ、肉屋としての質問ですが、肉屋の組合長から質問を預かってきていますので、ちょっと読ませていただきます。組合長の質問を代読します。

日ごろ川越食肉組合を初め一市民としても大変お世話になっております。突然ですが、川越食肉組合長としてのご質問をさせていただきます。今現在、組合員19店舗、

私たちは昨年秋より宮崎地方で発生した豚・牛に対する口蹄疫または鶏に対するインフルエンザ、そして最近では福島で起きた原発事故によるセシウムの流出など、このような事故で汚染された食肉が流通されないようにやっております。ところが最近、新聞紙上でセシウムに汚染された食肉が販売されたという報道もされています。私たちのところには、上部団体である厚生労働省の埼玉県食肉協同組合を通じて川越食肉組合長である私のところにファックスで情報が流れてきます。そして今、各組合員に連絡をしております。このようないろいろな情報に対応しながら事故のないように努めております。お客様に対して安全をモットーに食肉販売を行っていますが、今現在、組合員、脱会者、また未加入の食肉販売の方々はどうのような方法で情報を得て行動しつつあるのか知りたい。そしてこのような組織を利用せずに、川越市の管理下にある保育園、小学校、中学校等の給食の食肉納入業者に指名されているのか、ぜひそのところを教えてください。お聞きしたいことは多数ありますが、とりあえず一点のみお聞かせ願いたいということですので、よろしくお願ひします。

川合市長 食肉組合に入っていない食肉を扱っている業者さんが、どうやってそういう放射性物質などの情報を入手するのかということですか。

意見 それも一点ありますが、市のほうの保健所の関係でいろいろありますよね。

川合市長 保健所のそれぞれのお店に対する規制と指導は、組合に入っている、入っていないにかかわらずそれは全部やっていますよね。食肉の汚染の問題に関しては、特に今回は牛肉が中心で、牛は個体識別番号で管理されているから、この牛の肉はどういうルートで出回ったかというのは全部調べられるのですね。

意見 そうです、追跡できます。

川合市長 ですから問題のあるものについては問い合わせがくれば保健所が答えられる、そういう体制になっていますし、県などからは、セシウムを含んだ稲わらを食べたと思われる牛がこっちへ出回ったが、それがどうなったか調べて欲しいと言われると、調べて返事をします。

意見 ええ、その辺はわかっているんですが、特に保育所なんですからけれども、私どもは納めていないのでわからないのですけれども、組合に入っているけれども全然納めさせてもらえないというところが出てきたみたいで、一軒は何店舗も持っていて入っている、もう一軒は全然入っていないとかあるんですね。

川合市長 納めさせてもらえないというのは、保育園のほうで肉を買わないということですか。

意見 どういう方法で納入先をきめているのか、くじ引きみたいな感じでやっている

というような話を聞いたんですけれども。

川合市長 私が知っている限りでは、個々の保育園では、その地域の八百屋さんなり肉屋さんから給食のための食材は仕入れているということですね。

意見 それもあるのですが、半年ごとにやっていて、半年ごとにかえられてしまう、その後、抽選に漏れちゃうと全然納められないということがあると聞いているんです。

川合市長 そういう保育園があるということですね。

意見 いや、川越市全体です。

川合市長 全体にそうですか、わかりました。

宍戸副市長 恐らく基本的に、やはり公共が発注しているものなので、一つのお店が独占してはいけないということで、一定期間ごとに回すといいですか、一定の手法で選んでいるということはあると思います。ですから、ずっと独占させないためにやっているといます。そして選ぶときには、なるべく近いところで、かつ一定量を確保できるというところを選ばせていただいて入れていただいていると思います。それについては組合というよりはむしろその保育園の近辺で、なおかつ一定量を必ず納められるという条件で回しながら選んでいることだと考えているのですけれども。

意見 最近、1店は3件も持っていて、ないところは全然ないということなので、みんな近くのところを持っているんですよね。

宍戸副市長 保育園は市内に20園ございますけれども、それでは調べてみます。

川合市長 名前を挙げていただければ、どういうやり方で調達しているのか調べたいと思います。

意見 そこまでは調べておりませんが。

宍戸副市長 わかりました。保育園のやり方を調べて後日報告するようにします。

意見 そうですね、よろしく願います。以上です。ありがとうございました。

#### 《ヤオコーの出店状況、旧霞ヶ関北小学校跡地》

意見 西部地区の角栄商店街です。いつもお世話になっております。とりあえず2点ほどお伺いします。

霞北自治会、12支会で一応要請はされていると思うのですが、霞北出張所の移転と旧北小の跡地、この辺の進捗はどんな状況になっているのか。

それともう一点、来年の3月8日にオープンする予定になっておりますヤオコ - さんの出店の状況について、多分当初の市との打ち合わせの時点では売上想定とかいろいろ数字が出ていると思うのですが、わかる範囲でお聞かせください。というのは、

あそこは元日産自動車の跡地なのですが、駐車場が400台と、かなり広大な敷地で今準備をしているというところで、先日、説明会があったのですが、ほかの者が出席して詳しくは聞いていませんので、その辺の状況についてお聞きします。

あの辺のマーケットは今までもかなり厳しい状況で、ベルク、いなげや、それからサミット、エコスと中堅のスーパーがそろっています。そこへもってきてヤオコーが入ってくるという状況ですので、我慢比べでどこがどこまでもつかと、それに我々地域商店街も厳しい状況で巻き込まれるという、これは絶対避けて通れないというのが実態なんですね。そういう状況の中で我々もあそこにどれだけの需要があるのかなと考えますと、ヤオコーさんが年間40億やるか50億やるかわからないのですが、それをもしやるとすれば、出店計画のときにどの程度の数字を出されていたのか、そういう数字がわかれば教えていただきたいと思います。その2点だけお願いしたいと思います。

川合市長 旧霞ヶ関北小学校の跡地の件については、あそこに市民センターのようなものをつくってほしいという要望をいただいております。今、地元と行政が、どういうものを、どういう手順でつくっていくかについての協議会みたいなものを立ち上げて話し合いを始めた段階と聞いておりますので、まだ時間がかかると思います。

ヤオコーの問題については、私が把握しているのは周辺の交通事情等についてで、ヤオコーができたときに生ずる渋滞をどうやって処理するのかと、そういう問題についてははっきりさせて欲しいということとを前のタウンミーティングか何かで言われた関係で、それは自治会も人を集めて、ヤオコーないしは行政のほうが説明会をやるようにしましょうということとを1カ月ぐらい前に言ったところで、あそこにヤオコーができると、商売上周りにどういう影響があるのかとか、そういうこととデータであるとか、その辺のところは申しわけないですけれども私はわからないので、その辺について何かあればお願いします。

産業観光部副部長 ヤオコーさんについては、まだ全体像というものは出ていないのですね。あの敷地はアイ・エイチ・アイの跡地だったのですが、その半分にヤオコーさんが出るのです。そのほかの店舗はまだ決まっていらないのですけれども、市長が申し上げたとおり、やはり周辺の住民の方はあそこの交通問題をかなり意識していただき、県のほうにも意見書を出してはいるのですけれども、その辺の回答はまだだと思えます。

これからヤオコーさんが出ていって建っていくのですけれども、市としてその辺をどうするということはできないものですから、ただ、もう少し見えてきましたら会長

のほうにその辺の資料をお渡しできます。

意見 はい、わかりました。

市民部長 交通の関係ですけれども、商店街さんのほうとはちょっと目線が違ってしまいかもしれませんが、住んでいる方にとっても大変な話ですので、説明をつけたりですとか、いろいろなものについて警察と協議をしたりして、大体は大丈夫ではないかなとは思っていますけれども、実際に始めてみれば、協議の中では見えなかったもの等もまた出てきますので、そういうものについては市の安全安心生活課のほうにご要望をいただき、小さなご要望は直接きたりしておりますので、対応できるものについては支障がないように対応させていただきます。交通安全のほうにつきましてはできる限りのことをしていきます。

意見 わかりました。

#### 《商店街の老朽化、街並みの景観、野良猫対策》

意見 北部ブロックの川越名店街です。商連の副会長をやっております。北部ブロックは皆さんご存じのように一番街とかで、常日ごろ、観光客の方々がお越しになってありがたく思っておりますが、私のところは名店街で一番街の手前、仲町から蓮馨寺までの商店街なんですけれども、お陰さまをもってずっと長い間、皆さん元気で商売をやっているのですが、今どうにも取り残されていて老朽化も激しく、アーケードもはっきり言ってきれいとは言えないわけで、そういうところを市としてはどういふふうに見ているのかなというのが一点です。

あと、やっぱり汚いところは、それはだれが見ても汚いんですよ。ということは観光客が見ても汚いと思うんですね。だからそういうところを、しかも中央通りは川越市の職員の方は毎日のように通ると思うんですよ。だから、ここはちょっと汚いんじゃないのとか、どんどん声を挙げてそのところに言ってほしいんですよ。そういうふうなところに気づかいをしてほしい。

あと、私のところは蓮馨寺の中でお陰さまで商売をやらせていただいているのですが、けれども、野良猫が今日も朝、蓮馨寺の前で野良猫が一匹死んでいましたけれども、最近そういう野良猫に餌をやる人が多いんですよ。それは地元の人もそうだし、観光客の人もかわいいからあげていっちゃんから増えますよね。そうするとやっぱり臭いし、今日みたいな事故の問題もあるので、市としてその辺の対策というのは持っているのでしょうか。伝統的な建物もあるし、はっきり蓮馨寺さんも迷惑だと言っているのです、その辺もうちょっと考えていただきたいのですけれども。

川合市長 野良猫、野良犬に関しては、言っていたければそれなりの対応をして、

つかまえて、一定のところに入れてしまうというようなことはやっていますよね。

宍戸副市長 はっきり申し上げますと、今、野良犬、野良猫は、引き取り手がない場合は熊谷市にある県のセンターが処分という状況になるかと思えます。

最近野良犬の処分数はものすごく減っています。それは飼い主さんの努力だとか、あるいは行政の努力で、もらっていたりとかしているのですが、逆に猫は増えています。今それを減らそうということで、市も県もそうですけれども、まず野良猫に餌を与えないでください、それから猫を飼っている方で子猫が要らない場合には、大変申しわけないけれども子どもができないように手術をしてくださいということ啓発している状況でございます。

意見 それはわかるんですけども、観光客の方々が例えば餌をあげているのを、うちがやめてくださいとは言えないわけですよ。

宍戸副市長 近所で増えているトラブルが、猫の好きな方が餌をあげるということで、それによるトラブルが非常に多いというのは、これは県でもどこの市役所でもそういうお電話はいっぱいいただいているところです。ですから、なかなかご近所同士では言えないので行政が広報だとか、例えば去年でしたか、県の広報では犬・猫の飼い方をどうするか、特に餌を与えないでくださいということの広報はかなりやっているところですが、なかなかそれが決め手にならなくて大変申しわけなく思っているところです。

厚労省も含め、県も含め、市も含めて、とりあえず殺処分は減らそうという動きはしています。その一環としては、まさにおっしゃられたように餌やりだとかはやめましょうという方向での動きはしているところですが、なかなか歯がゆくて申しわけないのですが。あと、道路に出た死骸については、それは言うだけならば環境部のほうで処分をしているところでございますので、それはどんどん市のほうに声をかけていただければと思います。なかなか及ばなくて申しわけないのですが。

意見 いやいや、こればかりは決定的な手がないんですね。

宍戸副市長 なかなか皆さん意見が対立するところで、好きな方と好きではない方、あるいは好きな方でも餌はやらないとかいろいろとおられるので、ちょっと難しいところですけども。ただ、そういうのは困りますという形は広報でやっていきたい。

川合市長 それから、連雀町交差点から仲町の交差点までの町並みの問題は、確かに余り見た目がよくない点があるのは間違いないと思っていますので、今はとりあえず本川越から連雀町交差点までの道路の拡幅等をやっております、その区切りが一つついたら、次は仲町交差点までの間をきれいにするためのいろいろな方策をやりたい

と考えています。特に歩道に段差があって、しかも幅が狭いから、障害者の方などに極めて優しくないという声もありますし、それから、どなたがお持ちの建物なのかわからないのですけれども、かなりシャッターが降りたまの店舗もありますね。

意見 危険な状態にあると思います。

川合市長 あの建物も何とかしなければというようなことは考えておりますので、いずれ商店街の皆さま方といろいろ協議をしながら、どうやって変えていったらいいだろうかというようなことをやりたいと思っています。

意見 よろしくお願ひします。

市長秘書 私は以前その関係の仕事をしていましたので、同様のことを言えるのは、一番街商店街がやっぱりまちづくりの勉強会を立ち上げたんです。それから銀座通りがやっぱり勉強会をやって、そこが今の大正浪漫夢通りに結びついた、それから市長が申し上げたように本川越から連雀町の交差点までの拡幅、それもまた地元の皆さんの中でまちづくり協議会を立ち上げて、そういうところの議論を踏まえてそういう計画ができたのです。名店街さんのところも、まちづくりの担当課も含めて、これからこの商店街をどうするのかという議論をやっていただくことが必要かなと思うのですね。建物についてはきれいではないというお話がありましたけれども、一部は昭和初期の看板建築だったりするわけですよ。

意見 それは、2年ぐらい前にアンケートがあったとき、私としては、名店街というか、仲町から連雀町までを昭和中央通りとして開発してほしいと一応言っておいたんです。

市長秘書 そういう認識は持っていますから、看板建築ということで古くて、例えば川越市が持っている都市景観条例の中で位置づけるとか方法はあると思うのですね。ただ、いろいろなそのほかの条件も考えなければいけないわけで、一つは都市計画道路で拡幅の線が入っていること、これも大きな問題ですので、最初に申し上げたように市のまちづくりの担当課と皆さんで協議会みたいな形で勉強会を始めるのが、初めの一步になるのかなというふうに思います。

意見 わかりました。

#### 《中央通りの整備、観光事業、観光の経済効果》

意見 中央通り2丁目の商店会の会長をしています。ご存じのように連雀町の交差点から蓮馨寺までの本当に狭い商店街の20店舗です。先ほどから話題になっているのがうちの商店街だと思うんですね、汚いとか何とか。

今の中央通りに関しての話ですけれども、実は蓮馨寺さんと一緒に都市計画課へ行

って当時の部長さんと課長さんに会っていろいろ話をしてきました。とにかく皆さんの声が聞こえないと市としても動けないということを聞きましたので、これから皆さんに、何人かの方には話しかけていますけれども、これから会を立ち上げて、ただちょっと名店街さんとうちの商店街は違うんですが、それも一つになってそういう会を立ち上げてこれからの話をしようと思います。

今までは余り私は自分で思っているだけで行動に移したことはないのですが、今回一方通行の問題で初めて行動を起こしたんですけれども、そういう意味でなくいろんなことで一応行動を起こしたわけです。ちょっと年をとり過ぎまして、70になってちょっと遅いですが、とにかく皆さんの話を聞いてまとめて、これから川越市さんのほうにいろいろお世話になると思いますので、よろしくをお願いします。

それから、川越市に芸者がいなくなったというのも、これはやっぱり必要性がないからなくなったのだと思うんですけれども、実は私はあそこにいる会長の仲間で、よく20代のころは芸者遊びをしたんです。で、川越にいなくなったというので飯能へ行って、飯能で遊んだら飯能もいなくなったというので、芸者さんを求めて小川まで行ったこともあるんですが、結局もうどこにもいなくなっちゃったので、今度行くときは小浜に行ったほうがいいのかと。

それはともかく、うちのほうの中央通り2丁目を何で変えないんだと、特徴がないから変えようがないんでしょうけれども、もともとは皆さんご存じでしょうが中央通りは1丁目、2丁目、3丁目とあったんですが、市長さんはご存じですか。

川合市長 中央通り1丁目、2丁目はちょっとわからないですね。

意見 実は仲町から蓮馨寺の角までが中央通り1丁目なんですね。2丁目というのは蓮馨寺から日高県道、連雀町、このあたりをまたいで昔の鉦打(カネウチ)町通りという小さい十字路があるんですけれども、そこまでが2丁目だったんですよ。その鉦打(カネウチ)町通りから本川越までが3丁目だったんですけれども、1丁目、2丁目、3丁目と、東京の銀座には1丁目、2丁目が残っていますけれども、中央通り1丁目は余りネームバリューがないというので、中央通り1丁目は川越名店街にしちゃいましたけれども、それで中央通り3丁目さんがいつの間にか中央通り商店街になってしまったので、観光客の方は本川越から1、2と来ていると思っているらしいんですが、実は全く逆なんですね、観光客には話はしますけれども、で、市としてはこれから観光に重きを置くのか、どこに重きを置いて全般的にやるということなんでしょうか。

川合市長 もちろん、観光だけではなくて地域の商業振興であるとか、産業的には農

業も何とかしなければと思っていますし、工業は、ある意味では工場誘致とかそういった問題ですけれども、観光だけに力を入れるというつもりはございません。ただ、観光もそれなりににぎわいのもとになっているし、一定程度の経済効果はあるから、これは発展させる方向で持っていきたいなということで、現状に決して満足をしているわけではないという状況です。

意見 それから、これは余りいい話ではないんですが、うちの前を通った観光客が、うちの商店街は素通りする人が多いんですけれども、この間ちょっと女性が二人で前を通りながら、川越はいいわねって話していたんですよ。お金がかからなくていいよねって言うんですよ。

川合市長 川越は日帰り圏ですから、余りお金を使わないで皆さん帰られるのですね。

意見 何かその話を聞いたら、観光客が来ている割にお金は落ちないのかなと思って、がっかりしちゃったんですけれども。

川合市長 それはまさにそのとおりです。それを何とかお金を落としてもらうにはどうしたらいいのだろうかということで、せめて夕飯を食べていってもらうには、川越の伝統芸能を見せられるような方がいたほうがいいのではないかと、そういう発想で去年1年間、私は川越に芸者さんを復活させたらどうかという話をあちこちでしていたんですけれども。まじめに、そういう伝統芸能を見せて夕飯を食べていってもらうぐらいまでしてもらえれば、それなりに一人7、8千円ぐらいは使ってもらえると思うのですが、今の状況ですと観光客一人あたり3,000円ぐらいしか使わない。昼飯食べてちょっとしたお菓子か何かのお土産を買ってそれで終わりという、そんな感じの人が多いいということですよ。

#### 《川越まつりの観光客》

意見 それと気になるのがもう一つあるんですが、私は今年の祭りは余り出て歩かなかったんですけれども、ある人の話によると、本川越の駅前広場に観光客がビニールシートを広げてお昼を食べていたとか何とか、そんな話を聞いたんですけれども、そんなことがあるんですか。

産業観光部長 今年は露天商の関係で、8月1日から埼玉県で暴力団排除条例が施行されまして、露天については暴力団関係の者は出店してはいけないということになりまして、それが一つと、それからクレアモールのところで、実は百万灯夏まつりのときに警察の方々が混雑指数、雑踏指数というのを測ったのですね。そうしたらクレアモールでは基本的に明石の事故と同じ指数が出てしまったということで、当初、クレ



市長秘書 都市計画道路の問題は実に悩ましい複雑な問題ですね。川越市内にはあそここのところだけではなくて、旧市内にはまだ相当都市計画道路があります。大体が昭和 11 年ごろにもともとの軍用道路の計画の中から生まれたものを、戦後の見直しの中で昭和 37 年に決定したものがほとんどになっています。計画区域内には建築の制限がかかりますから財産的にもずっと皆さんどうしたらいいのか、50 年も 60 年も苦勞なさっているということは事実だと思うのですが、一度都市計画決定したものをくつがえすというのが極めて難しいのです。

そこで、平成 11 年に、今から 10 年前に一番街通りの部分だけいわゆる縮小変更というのをさせてもらったのですが、あれは日本全国でも初めてで、極めてまれな例だというふうに言われたものです。ただ、今おっしゃられたとおり、もう一番街についてはほぼ現道の幅員だと計画が変わりましたから、今の名店街さんと中央通り 2 丁目のところがボトルネックになることは明らかですね。

南から来ると、本川越駅のほうから連雀町の交差点まで広げられる、今の名店街さんのところはせばまる、ただし都市計画の拡幅線が西側 10 メートルの道から入っているというところの中で、北の一番街は現道の位置だと、だから明らかにあそこが寸詰まりだということは事実です。

ではこれをどうやって取るのか、あるいはどうやって変更するのかという議論の中で重要なのは、やっぱりまちづくり全体の議論だと思うのです。一番街の場合には要するに建物のほうを、蔵造りを保存すると、保存するために伝統的建造物群保存地区という都市計画の網をかぶせる、となると都市構造が固定されるので道路を広げなくてもいいというシナリオを立てたわけです。

ですから蓮馨寺周辺の皆さんも、まちづくりについて議論をする中で、例えば伝建地区までいかないけれども都市景観条例による景観形成地域になるのだというような中で、ここは都市構造が固定されるから、広げる必然性がなくなったねというような議論を積み重ねることによってしか、次のステップにいかないということなんです。ですから、繰り返しになりますけれども、初めはこのまちをどうしたらいいのかということ、もう一度皆さんを中心に考えていただきたいということを申し上げます。

意見 やっぱり全体的に話し合っ解決していくという方がいいわけですね。

あと一つ、ちょっと忘れていましたが、一方通行の問題なんですけれども、市の職員さんがお二人でうちへ見えまして看板が違法だと言われたんです。どこが違法なんですかと言ったら、違法の理由を言われなくて、違法だから撤去してくださいという

ことなんです。それはうちの敷地内に入っているわけです。で、県警の刑事さんがちょうど見えたので聞いたんですが、そうしたら違法だということが証明されないという恐喝になるというんですね。そういうことを市の職員さんがやられているというのはおかしいなと思ったのですが、どういうことなんでしょうか。

川合市長 それを言ってきたのはいつごろですか、最近ですか。

意見 1カ月前ぐらいですね。

川合市長 1カ月前というのは、9月に入ってからですか。

意見 8月かな。それで、名刺も置いていかなかったんですね。

川合市長 立て看板が出た後ぐらいで、特に一番街を中心にして景観上問題があるから撤去してもらおうように働きかけをしましょうと、そういうことを職員がやっていたことは間違いありません。それは屋外広告物条例という条例がありまして、自分の敷地の中に立てた広告物であっても、一定の要件を備えていないとだめなのです。そういうことがあるのですね。ただ、それを言ったからといって、違法性が証明されない限り恐喝になるということはありません。

意見 警察官の方が間違いなくそれは恐喝ですと言ったんです。

川合市長 恐喝というのは金品を奪う目的がないと、恐喝というのは脅して金品をとるわけです。

意見 いや、脅かしただけで恐喝になると言うんです。

川合市長 脅しただけだと脅迫罪になるかどうかの問題ですね。それで、これは違法ですよと言っただけで脅迫になるということにはないです。

意見 そういうことだから名刺も置いていかなかったんですかね。

川合市長 立て看板が出た直後ぐらいに、景観上問題があるから撤去をお願いしましょうということ職員がやっていたことは間違いありません。特に一番街を中心にして。その根拠は何かというと、屋外広告物条例という条例に違反するということですね。ただ、その後、余りそういうことをやってみてもかえって対立を深めるだけではないかと考えて、そのままにしておきましょうということにしたのです。

意見 私も最近はおもめるのは好きじゃなくなったので、あえて余りおもめるようなことはしたくないんですけども、一応そういうふうに思ったものですから。

川合市長 決して恐喝ではありませんので、それはご理解をいただきたいと思えます。時計の入札についてはわかりますか。

市民部長 一般的に川越市がいろいろなものを、工事もそうですけれども、調達をする場合は限りなく市内の業者から、できるものはしております。物品の購入について

も、時計屋さんでなくても扱っているような商店さんがありますよね。ですから入札の中で、できれば公金でございますから安くということがあります。

意見 それは当たり前ですよ。

市民部長 そういうところで決まって、市内で調達できるものについては、市外になるというのは、本来はないわけです。

意見 でも実際には池袋西武が取ったのもあるんですね。

市民部長 量の多さとかで、そういう外部ですとか大きなところというのもありますよね。工事でも市内の業者だけでは難しいような大きなものについては外の、市内にまず営業所があるかどうかなど。

意見 それは時計に関してはちょっと違うと思うんですね。

市民部長 そうですね、その辺につきましてはまた調べてみます。

それから、先ほどの名刺の話ですけれども、市の職員がお宅を訪問したときに必ず名刺を出すということはありません。いろいろなところへ行きますけれども、名前は名乗りますけれども、名刺をすべて置いてくるということはありませんので、悪いこととしているから名刺を置かなかったということではありませんので、それはご承知おきいただければと申し上げておきます。

#### 《税金を安く》

意見 時間が余りないので、必ず一言だけは皆さんご意見持っていると思いますのでご発言をしていただきたいと思います。余り長い時間ではなくて、ひとつよろしくお願ひします。

意見 元町一丁目商和会です。市長さんには大変お世話になりました。一言、税金を安くしてもらいたい、ほかは何もないです。

川合市長 ご要望として承っておきます。

#### 《織物市場の整備》

意見 川越商店街連合会副会長をしております。市長さんにお尋ねします。織物市場についてご質問をしたいと思います。「川越きもの日」を立ち上げて第1回を8月18日、19日、それと10月11日の3回、織物市場をお借りしてサービスのイベントをさせていただきました。いつもお世話になってます。

その織物市場について、入って突きあたりまでがコンクリートでなくて砂利なので、ちょっと足元がおぼつかないものですから、ああいう状態のままにしておくのかどうなのか、これからの織物市場の整備計画があればお尋ねしたいと思います。

川合市長 あのままの状態にしておいていいとは思っていないのですが、先立つもの

がなかなかありませんで、順番にやっている関係でもうしばらく時間がかかると思うのです。ただ、そのままにしておく地震で潰れてしまう心配があるかなと思うので、なるべく早く活用のための修理というか工事というか、それはなるべく早くしたいとは思っています。

意見 梁なんかもそうですが、外回りもお願いしたいと思います。

川合市長 私も毎年一回ぐらいはあそこに行っていますから、もう相当傷んでいるというのはよくわかっていますので、なるべく早く手をつけたいと思っています。

意見 どうぞよろしく申し上げます。以上です。

《わくわく商品券、本川越駅西口の整備、川越市駅の整備、雨水貯留槽の設置》

意見 私は中原町商店会で自転車屋をやっております。

まず、うちの町内は商店会に入っている店舗は一応 65 店舗あるのですけれども、実質的にはビル業とかそういう人が大変多く、うちの町内でも増えているのは飲み屋さん、不動産屋さん、美容院とアパート業、ビル業ですか、そういうものが増えています。一般的な昔からありました肉屋さん、魚屋さん、八百屋さんですが、もう肉屋さんはなくなりまして、今は魚屋さん、八百さんが1軒だけ残っておりますけれども、中原町というのは川越市駅から本川越までの通い道なんです。そんなわけで朝は通勤・通学の人が大変通る道なんですけれども、朝晩は多くて昼間は丸っきり暇で、人通りがないというふうなところで、商店会にはビル業とかそういう人にも入ってもらって、街路灯の維持というところで頑張っているわけです。

もう本当に今は、地元の人が商売をやっているお店と、ほかから来てお店を出している人が大体半々ぐらいというところで、昔は地元の人がずっと多かったんですけれども、そういうような状況なんです。まず、市長さんに感謝するのは、わくわく商品券をやっていただきまして喜んでいてる商店もあるもので、一応貴重な税金を用意していただいて、3億円ですか、3,000万円という税金を使わせてもらって喜んでる商店もあるので、それは感謝しております。

それから、中原町商店会からちょっと聞いてきてくれと言われたことについて質問させていただきます。まず、本川越駅西口の問題の進行状況をお尋ねしたいということと、川越市駅のバスも通らない駅の様子が大変みすばらしく、観光で行くには、川越市駅のほうが川越駅より早いのですけれども、ようやく川越市駅にもエレベーターができて、スロープもできて、乳母車が通れるような形になったというのが今の現状なんですけれども、市駅の再開発の状況を教えていただきたいと思います。以上の2点をお願いいたします。

川合市長 本川越駅の西口を開けるという件については、既に駅前広場の部分は取得してあるのですが、そこから市駅のほうに抜ける道の部分の買収がまだ進んでいないということがございまして、もう少し時間がかかるかもしれませんが、なるべく早くやらなければと思っています。

川越市駅の整備・改修については、私の意見としては、車両工場のところも含めて川越市駅に西口をつくってもらおうと同時に、あの周辺の整備をやりたいという希望は持っているのですが、今のところ具体的な計画はありません。

今あるのは大分昔につくったもので、東口だけの駅前をこういうふうにしたらどうかという図面みたいなものはつくってあるのですが、具体的な東武鉄道との協議とか地元との協議とか、そういうものには手をつけていない状況でありまして、私の考えとしてはやるのであれば東口だけではなくて西口を同時につける、少なくとも川越市駅の西口を同時につけるような計画で進めていかなければならないと思っています。というのは、川越市駅のすぐ北側の踏切が開かずの踏切で、ずっとつながっている状況をよくご存じかもしれませんが、1日でトータルすると9時間ぐらい閉まっているのだそうです。朝とか夕方が一番ひどいときは連続して40分ぐらい開かないことがあると、そういう状況で人も通るし、車も通るし、何とかしなければということを考えていまして、当面は東西の自転車と人が通れるぐらいの通路でしようがないのかなということもありますけれども、川越市駅はやっぱり西口を開けて、西から東、東から西へ渡れるような道路ないし歩道橋ないし橋上駅をつくっていかなければだめだろうなという個人的な考えでいるのですけれども、まだ具体化はしていません。

意見 ありがとうございます。お陰さまで本川越の所に貯水槽ができて、水がいつもたまっちゃって困っていたのですが、それが今年は全然なくて、お陰さまで助かりました。ありがとうございます。

#### 《タウンミーティング、川越市内の生鮮三店の現状、ふれあい拠点施設》

意見 今日のこの「商店街の活性化とにぎわいの創造」という中で、この第7回というのは、これはいろんなところでやってきて、商店街というふうに見るということですね。地域ごとにやってきたということですね。

川合市長 地域ではなくて、去年、今年といろいろな職業団体とか、そういうような人たちから意見を伺っております。

意見 それで7回目はこういう商店街ということなんですか。

川合市長 はい。

意見 わかりました。うちは川越駅東口商店会で今80店舗ぐらいの規模でやってい

るんですが、先ほど言われたように生鮮三店というのはもう川越市内でもだんだんなくなってきたって、東口は今マンションがかなり乱立してきて、空がなくなってきたという感じを持っています。もう少しうまく駅前なども整備していかないと、本当に空がなくなってしまうのかなという危機感を持っています。

そういう意味で私どものほうの東口では今「にぎわい商店街活性化事業」ということで、月に3回、地元の生鮮を売ろうということで12月から始めているのですが、これは県のほうからも少し補助をいただきながらやっているところなんですけど、東口も駅からだんだん行くと田んぼになってしまうんですね。16号から先へ行くと田んぼになってしまうということで、その中の、その間のお客さんを相手にする商店街かなと思うんですけども、うちの場合は商店会というか、一本の道が通ってなくて駅から扇形に広がっていくものですから、ここだということもなかなかなくて、しょうがなくうちのホテルの裏で青空市場をやったり、近くの八百屋さんを借りてやっているというのが実情なんですけれども、何かそういう商店街でできることをみんなで知恵を出し合ってやろうということから始まって、ここで20回ぐらいになるのかな、やっているんですけども、毎回やると大体10万ぐらいの売り上げがあるので、年間にすると300万ぐらいの売り上げがあるということで、商店街の人たちも一生懸命頑張っているところです。

そんな中で、個店がだらしないのでだんだんなくなってしまうということがありますが、今度は西口に大きなものができて、そちらに飲食や商店の大きなものができると、東口もさびれちゃうかなという危機感を持っているので、なるべくうちのメンバーには頑張れよということで今やっているわけですけども、西口のふれあい拠点は24年着工というような話は聞くのですが、聞いている中ではこっちに来たりあっちに行ったりで、変わっている部分が結構あるんじゃないかと私は感じるのですから東口もそうですし、今西口にできるという中で、いろんなところでのこういうタウンミーティングは必要なのかなというふうに、それから企業別というか、例えばその中にホテルが入るとすればホテルの組合の人たちにも声をかけるとか、それからまたその中に入る人たちに関係するものがあれば、そういう人たちのタウンミーティングも必要なかなと思いますので、ぜひそういうことでやっていただきたいと思いますが、今、ふれあい拠点のほうはどのくらい進んでいるのか、ちょっと整理してお聞かせいただければと思います。

宍戸副市長 今手がけているところは、幾つかのゾーンがあるのですが、行政関係が入るところと市の新ホールが入るところ、それについては、基本設計が終わってこれ

から工事に入りまして、オープンは 26 年度ということで、行政ゾーンと市民ホールゾーンについてはそういうことで進んでいます。そして残っているもう一つのゾーン、民間のにぎわいゾーンについては、民間業者の方々から提案を受け付けてその審査に入っているという状況です。

つまり行政ゾーンと、行政ゾーンというのは県の行政ゾーンですが、それと市でやっている市民ホールについては、もう既に具体的に詰めをつくって工事に入っていきます。それから若干おくれてにぎわいゾーンについては交渉中という状況です。ですから、実際動きだして形が見えてくるのは 26 年度になると、大まかにはそういう状況です。

意見 全部きれいになっちゃって、更地になっちゃって、寝かせておくのももったいないなという感じもするし、中身がどういうふうになっていくのかなというのは、やっぱりある面では公表していただいたほうがやりいいかなという感じがするので、ぜひ、市の広報でもいいし、進捗があれば聞かせていただきたいと思います。

穴戸副市長 その都度広報等でご報告申し上げたいと思っております。

#### 《都市計画道路の見直し》

意見 六栄会です。先ほどの計画道路について補足をしたいと思うのですが、計画道路は昭和 37 年に決定をしたということですが、その当時はモータリゼーションがこれから始まろうとしている時代であり、また人口が増えてくるというそういう時代背景があるわけなんですね。今、川越は都心に近いので人口減少が直接きているわけではないのですが、やがては人口減少ですので、あきらめてしまうような計画道路をつくってしまったらだめだというのではなくて、見直しが必要ではないかと思えます。

あと、計画道路が引いてあると、道の両方に引いてあれば平等なんですけど、片方しか引いていないと、前の家は 3 階建ての建物がつくれるが、こっちはつukれない、そういう差別をもう 60 年くらい受けてきているわけですよ。片側だけなぜ高いものがつukれないのか、それはやっぱり不平等だと思うんですね。本当に差別だと私は思います。

それと、その計画道路のお陰で固定資産税が若干安くなっているとは思いますが、どのくらい安くなっているのかよくわかりませんが、固定資産税を上げるためにも計画道路は廃止する、差別をなくす、そういうことでひとつ見直しをしていただけたらと思えます。

川合市長 都市計画道路全般については、見直しの作業を進めているはずですが、今年

度あたりから始めていると思いますけれども、先ほど言いましたように昭和 37 年どころではなくて戦前の都市計画道路というものがあまして、それができないままずっと来ている。おっしゃったように、住民の方を束縛しておきながら何もできないでずっと何十年も来ているこのままでいいのかということで、もう見直すものは見直して線を引き直すというか、そういうことをしなければならないと考えています。

#### 《今後の商業のあり方》

意見 あと、今後の商業のあり方なんですけれども、私はこれからは複数化の商業はいいんじゃないかと思います。それは、川越にはこれといった大きな住宅、公団がないわけなんですけれども、いよいよ埼玉都民が地元に戻ってくる、今まで都内で消費をしていた者が地元にお金を落とすという状況になってきていますから、これからはいいんじゃないかと思います。以上です。

川合市長 今の話の関連でいえばどうでしょうか、高齢化が進んでなかなか車の運転とか買い物ができにくくなった場合に、身近なところにお店があるという必要性が高まってくるのではないだろうか、そんなふうにも考えているのですが、商店街の皆さんはそういう問題に関してどういうふうに見ていらっしゃいますか。

意見 私のところは個人店でやっているのですけれども、みんなスーパーに買いに行くので、年とってきても親しみがないから、通るので顔は知っているんですが、なかなか買いに来て配達してくださいとお年寄りが言えないというのがあるんですね。我々は顔を知っていて、私は肉屋なのでどの人が何を買って、この人は脂身が好きだ、この人は豚が好きとか、私が買うものを覚えるまで何回か通ってくださいよと言って商売させてもらっているのですが、それがわからないんです。

だから、ある程度の年齢になって一人だと、ヤオコーとかで値段が下がるのを待っていて、9時、10時まで弁当並べて、安くなるのを買っているというの一人の人が多い。あとはヘルパーさんがついて一緒に買いにくる、そんなふうな状況です。配達の前からしているけれども、うちで何を売っているかというのもわからない。スーパーさんのチラシを持って、これは幾らだからいいやということで買ってきちゃうという人がほとんどなので、あそこに何が売っているからといって買いにくるという人はいない、そこまでのふれあいになってないんです。

私なんかはそういうふうなことまで言うんだけれども、今までの流れの中でもって、スーパーのほうが買いやすいから間に合わせになってきちゃっている。そういうふうな状況下に我々は特にあります。お子さんやお孫さんと一緒に住んでいる人は別なんですけど、一人の方は、本当に一人でそのまま死んでしまっていて、身内が気がつか

なかったというのは、周りでかなり見られています。

川合市長 これは商売を知らない素人考えかもしれませんが、電話とかファックスで注文を受けて配達しますよというのだったら、少くく高くても買ってくれるのではないかという気はするのですが、なかなかそうもいかないですか。

意見 そんなことはないですけども、結局そこまでの段階になってない、何を売っているかまでがわからないから、どこの店にどういうものがあるって、どれがおいしいかわからない、そこまでの交流になっていないから、あくまでもスーパーで買っているから、買い方がわかってないんですね。

意見 今、東口で魚屋さんが一軒残っていて、あそこの魚屋さんはインターネットでお客様をとっていますよね。あそこで仕入れているものを、九州のほうからとか北海道のほうから注文がきて、それを送ったりしているんですよ。

あそこのうちは昔からそういうことでは夕方になって余ると、おじいちゃんが持ってきておっつけていったのね。おっつけて売る売り方をしていたんです。要は引き売りみたいな形で近所へ戸別訪問していた。だからこれからは年配の人たちがいればそういう商売もできる。ただ、それは人がいなければだめかもしれませんが、マンションだってエレベーターがあるから行けるでしょうし、また逆に、1階に置いておきますからそこまでおりてきてくださいとかいうのだったらできるかなという感じですよ。

今、うちのほうでもそういうことでなるべくいろんなものを売りたい、特色あるものを売りたいなということで、お客さんからこんなものないのとか言われると、それはどこからか仕入れてくればいいわけですから、そんな形で事業をやっているんですけども、おもしろいですよ。今空き店舗も多いでしょう、だからそういう中でやると割といいかもしれないですね。それがだんだん広がってくれば、うまくできる部分があると思います。

年寄りには車で大型店まで行けない人もいますよね。そうするとやっぱり近いところでそういうのを小まめにやってあげることによって、商店街はよくなるかなと思いますし、それから商店も生きられる。ですから肉屋さんもそうだと思うんですよ。それも経費要らないのでできるでしょうし、何グラムくださいというならそれでもいいし、じゃあ、それにじゃがいもをつけてあげるとか何かしてやれば、これからはいいのかなという感じもするので、今本当に年寄りが一人だと、何を食べても、そんなに量は要らないですから。だからよくうちの場合はマンションの上から見ていて、あっ、またやってるといって、下におりて買いにきてくれたりしてますよ。だからそ

の積み重ねが大事だと思いますね。

《JRの踏切》

意見 川越駅前商店会です。アトレのところの踏切ですが、あそこの踏切は東上線とJRが走っていて、西川越に行く電車が普通の時間の3倍くらい踏切を遮断しているんです。まず鳴り出してから出てくるまでがものすごく時間がかかるという形で、あれは絶対支障がありますので、半日でもいいですから市の方に時間をちょっと計っていただいて、普通の踏切の3倍くらいかかっています。JRの場合だけです。もう非常に損害を受けておりますので、半日でもいいですからちょっと一回計っていただきたい。

川合市長 その辺についてはJRにご要望をお伝えするようにいたします。

意見 計っていただいて、異常があったらばぜひお願いしたい。

意見 国鉄を引きずっているんだよね。

意見 そうなんです、ひどいです。西川越から川越線に入るのは普通の3分の1ぐらいの時間でゆっくり来るんですけども、見えるからまだいいんです。見えないままずっと待たされて、またJRだという形でもういつもイライラさせられますので、もう非常識だからちょっとお願いしたいのですが。

市民部長 交通の担当がいます。JRさんですとか東武さん、西武さんといった鉄道のほうと交渉する部署がございますので。

意見 ですから、その前に一度測定をお願いします。

市民部長 ええ、恐らくその辺ももうわかっていると思います。JRさんの場合は駅から出るときに結構長くとっていますよね。だから交渉は恐らくいろいろなところでしていると思いますけれども、再度同じようなお話があったということについては担当のほうに伝えておきます。

《来年の川越まつりの計画、ふれあい拠点施設に福祉センターの施設を、ふれあい拠点施設に商業会館を》

意見 がっちりとしゃべろうと思ったんですが、時間が8時半までだというお話なものですから、恐れ入りますが、商連の副会長を担当しております。ついては、新富町商店街クレアモールのど真ん中、一番最高にいいところ、いい場所でございます。実は、お話をさせていただきたいことは、オギャーと生まれて、昭和20年から60年間、今年で80歳になりました。

まず一つ、今回の川越まつりの山車の曳き回しについては、東・西・南・北・中央、全市内をくまなく歩かせていただきました。仙波の氷川神社から宮下の川越氷川神社

まで、すべての各自治会、町内会、それから本部、その他一切の箇所を、足の底にマメができるような状態で完全に歩かせていただきました。その中で一つ問題がありました。

先ほど市長さんがおっしゃった 15 日は 27 万、16 日は 50 万という人出でございますが、この 70 万という川越まつりの来客はこれが限界ではなからうか、これで精いっぱいなんじゃないかという感じを受けました。

北側の自治会の皆さま方からは山車が一つも出ていません。すべて南部関係の皆さん、中央から南部関係の山車の曳き回しという形で 15 台が登場いたしました。もちろん、市と仲町の山車は迎えという形で登場してはありましたが、一番最高だった 8 時から 9 時の間、仲町を通らせていただいたのですが、息がつけられないほどの混雑でした。福田部長さんにちょうど仲町の交差点でご苦労さまと声をかけさせていただいた、それ一つしか覚えていません。それほど苦しいぐらいのいっばいの人通りで、左側を通れ、右側を通れという指示の人込みの中を割って、どんなに警察官が笛を吹こうと、道路に立って見ていらっしゃる皆さんは動こうとしません。なぜか、動けない、もういっばいなんです。とにかく仲町の山車の会所の背中までいっばいに人が入っているということを考えますと、実は先日、高山市に視察に出させていただきました。春のまつりが 11 台、秋のまつりが 11 台、秋と春とに分けて年に 2 回の大まつりをおやりになっている。そろそろ川越もこんな時期ではないだろうかということを実は考えさせられました。

それはなぜか、交差点の信号が高山市は全部縦型です。一つも横はありません。ですから山車も人形を出したまま、見ている人たちもすばらしさを堪能できる高山のまつりだろうと思います。

川越はなぜ時間があんなに食ってしまうのか。その辻、その辻で人形を上げたり下げたりする時間が 25 分ずつかかります。急いでやっても 20 分かかる。それが中央通りに 3 箇所あります。各 15 台の山車が全部上げたり下げたりする時間を見ただけでも、私は 3 時間という時間が無駄になっているのではなからうかと思います。特に川越まつりを見にきた人たちの中には、綱の中を行ったり来たり全部するわけです。お客さん、どうしてこの中を通ると聞きましたら、「川越まつりだけなの、川越まつりは山車と山車の間を通れるんだよ、だからもう 30 年も見にきているんだよ」というおじさんたちのグループが 3 組ありました。だめだよ、邪魔だよと言って止めちゃっていいのか、あるいは山車の目の前に行ってパチパチと自分のカメラで写真を撮っていく、記念の作品をつくっていく状態がいいのだろうかということです。

実は、今年からここにいる方が宰領という形で、私は役から外れました。彼が宰領として責任を持って一切の連絡をやっていたので、私は暇がありました。随所、拍子木の担当や会所の担当と話をしながらまつりに参加ができました。

そんな関係で一番残念なことは、中央通りを南に向かって帰る途中で警察官が見えて、これからの時間は曳っかわせはだめと怒られてしまいましたので、8時半ごろから9時15分、何もしないで真っすぐ帰りましたから、新富町へ帰ったのが、9時40分という予定が8時半に着いてしまいまして、賄いが全然間に合いません。そんなことも実は目の前でつぶさに見てまいりました。ぜひ市長さん、ひとつそんなことを、皆さんも山車保有町内の前で市長さんがお立ちになってだめだったということではできないでしょうから、よくお考えをいただきまして、来年の90周年のときはどうおやりいただくか、すみませんが、もう計画をお出しいただければ幸いです。

それからもう一つ、私は昭和49年から平成5年まで西口にあります福祉センターの専務をさせていただきまして、結婚式をやらせていただいてまいりました。数えて二十数年になりますが、3,800組という結婚式を消化させていただきました。その結婚式場も平成5年までに立ち退けということで全部撤去させられました。待っていること久しもう20年、何の連絡もありません。今ふれあい拠点といって計画をお立てでしょうが、5年か10年たったらお前たち、また戻れるよという話がついに夢の物語になりました。何にも連絡がありません。すごいお金をかけて撤退をさせていただいたあの西口の福祉センター、できましたらなるべく早く福音をいただけて、また大儲けができますように、すみませんが福音を早くいただきたいと思います。

それからもう一つ、最後に恐縮なんですけど、川越だけなんですよ、市長さん、商業会館がないのは。だから商工会議所のこの一角を借りてではなかなか集まりにくい。高階方面の人たちがここまで出てくるのは、大変なんだよ遠くて、雨が降っては行かないんだよと、だんだんだんだん新河岸のグループは加盟店が減ってしまいます。私たちも足が運べませんので、なるべく早く西口のそのふれあい拠点の一角に川越商業会館をつくってください。以上、終わります。

川合市長 川越まつりの件に関しましては、まつり協賛会をいろいろな団体と一緒にあってつくって、そこが中心になって企画であるとか当日の運営というものをやっているのですが、今年はやはりいろいろな方面から警察の規制がちょっと強過ぎたというご意見がございました。警察がどういう形で規制するかについては、あらかじめ打ち合わせをしたわけではなくて、警察は警察の考え方でやられたということだと思っております。警察は、一つは、先ほど産業観光部長が言ったように、人の密度が明石の歩

道橋の上と同じになっているということが一つあると、交通死亡事故が最悪のペースで、今緊急対策地域に県から指定されているという不名誉なこともあって、これ以上事故死とか大きな事故を起こしたくないという思いがかなり強くて、今回のかなり厳しい規制になったと思うのですが、来年は少し警備のあり方について事前によく打ち合わせをして、それから今お話に出てきましたように山車を一遍に動かすのではなくて、半分ぐらいずつ一日交替で出すとか、いろいろな工夫をしていきたいというふうに思います。

#### 《石張り舗装道路の修繕、放置自転車対策、クリアパークの拡充》

意見 新富町商店街振興組合です。うちの方は、この7月に街路灯が全部建て直されてきれいになったんですけれども、道路のほうはどうも木琴をたたくような状態で、もう石張りが傷んできちゃっているんですね。あれが危ないということもあるし、女性のハイヒールが引っかかってしまうというような事故もあるんですよ。ですから、なるべく早くその道路を何とかしてもらいたいのですが、そこがどういうふうに動いていらっしゃるのかお聞きしたい。

あと、自転車の問題ですが、特にみずほ信託銀行の脇あたりに自転車を置いている方が多くて、市のほうでコーンとか置いていただいているのですけれども、その外側にも置かれちゃっていますので、そうすると置いている意味がなくなっちゃうんですね。置いてはいけませんよというその柵は置いているのですけれども、その外側に置いていますから道路が通れないんですよ。だから何かちょっとうまく考えていただかないと、駐輪場をつくっていただくとか何か考えていただかないといけないうらうと思います。

あと、これは産業観光部さんのほうに関係するのですけれども、クリアパークのほうも何かこれから用途を考えていただければと思います。トイレなんかもっとあったほうがいいと思うんですけれども、有料にするかどうかわかりませんが、ちょっとクリアパークが若い人の遊び場になっちゃっている感じなので、もっと年寄りがかつろげるといふか、何かそういう形を早急に考えていただければ憩いの場所になると思うんです。蔵里ができたので、北のほうは蔵里で休めるんですけれども、南側があの状態なので何か考えていただければと思います。以上です。

川合市長 クリアモールの石張りの問題については、どういう状況なのかわかりませんので、それはまたご要望として後ほど回答させていただきます。

自転車の放置についてはそれなりに取り締まっているはずですが、なかなか追いつかないという面がありまして、これはもっと力を入れてやりたいと思います。

あと、クリアパークについては、トイレを設置して欲しいというご要望も前からいただいております。これは検討させていただきたいと思います。

市民部長 あそこを造るときにいろいろ皆さんからお話がありまして、そこに夜たむろしないようにとか、ある程度の時間でシルバーも置きまして管理しておりますけれども、本来の公園の機能とちょっと違うような使い勝手になっている部分があるかと思えます。その辺につきましても、本来は緑があったり、ちょっとしたベンチがあったり、お水が飲めたり、トイレがあったりという本来の公園に果たしてしていいのかどうなのか、皆さんの意見で今の形になっていますから、その辺につきましても先ほどのお話と同じようにいろいろな方と一緒に、あそこがどういう公園がいいのかというお話の中で、行政のほうがかうしますというのはなかなか難しい時代でございますので、話し合っていけたらなというふうに思っております。

それから、駐輪場の例えば増設とかいろいろやっておりますけれども、放置自転車というのはいろいろな場所に出ておりまして、銀行さんなどでは、いかにもそこに来た人みたいに装って置いていってしまっていて全然関係ないとか、そういうのは皆さんの商店街さんのところにもあると思うのです。ただ、ああいうものを市のほうが勝手に持って行ってしまうという訳にはいきませんので、放置自転車の禁止区域になっていますと張ってすぐに撤去できるのですが、そのお客さんのものなのかどういものなのかいろいろありまして、なかなか難しい部分がございますけれども、今現在、交通事故が一番多いのが自転車の事故でございますので、その辺を絡めまして、何かいい方法が皆さんとまた話し合う中でできればというふうに思っておりますので、今後もいろいろなご要望をいただく中で、できるものについては一緒になってやっていければというふうに思っておりますので、今後ともよろしくどうぞお願いいたします。

意見 はい、わかりました。

#### 《クリアパークの利用方法》

意見 クリアパークの件なんです、クリアパークで行事をやっていると変なおじさんが二人ぐらい来まして、書類を持ってくるわけです。すみません、ちょっと目を通してください、ここへサインをしてください、すみませんが私はサインができませんと言うと、じゃあ、読んでくださいと。騒音は中止、太鼓の音はだめ、音楽は中止、もっと声を小さくしろと、かなり文章がたくさん書いてあるのを毎回行くたびに持ってくるんです。もう私は5回もらっています。ですから、そういうのを嫌がっちゃっていいのかどうか。

川合市長 現行の管理と運営の仕方は、地元の人たちのご意見に従って決めているは

ずですよ。特にあそこで騒音を出されては困るという声が強かったというのは私も聞いていますので、それでそういうような運営の仕方になっているのだと思うのですが、また反対のご意見が多いのであれば地元の皆さんにお諮りして、運営の仕方を変えるということは考えられます。

#### 《ふれあい拠点施設の多目的ホール》

意見 幾つかご相談があるのですが、一つはふれあい拠点の問題なんです。先ほどお話をいただいた中で聞いてみると、市で担当している市民会館の席数の問題はもう決定しちゃって、これはもう動かせないという状況になってしまっているんですか。

川合市長 ホールの席数については、それはもう決まりだと思います。ただ、技術的なことはちょっとわからないのですけれども、いろいろな方面から、どういう方法でやるとか、ほかの機能との兼ね合いで広さが決まってきた、席数が決まっているのだと思いますので、それを今変えるというのは難しいと思います。

#### 《ふれあい拠点施設のにぎわい施設、コンパクトシティ、商店街連合会を指定管理者に》

意見 残念ですけれども、決まっちゃったのではしょうがないですね。

それと、ふれあい拠点の今募集をしているというにぎわい施設の中にスーパーか何かの名前を聞いたんですけれども、どの程度の売り場面積を持ってやるのかわかりませんけれども、余り大きな商業施設としてスーパーがあそこに入ってくるというのは、私は反対なんです。それは、やはり東口の商店街が今一生懸命頑張ってやっておりますけれども、なかなか営業成績が上がっていない、なおかつ実績も上がっていない、丸広さんでも売り上げに苦しんでいらっしゃるというような状況からすると、川越の東口の商店街で丸広さんがなくなっちゃったら、商店街は壊れちゃって何にもなくなっちゃうので、ここのところだけはちょっとご配慮いただいて、西口には、小さな中規模的なものならそんなに影響力はないだろうと思うんですけれども、できればある程度の本当に限られたスペースにしてやっていただければ問題ないというのが2つ目です。

それから、商店街連合会も今32の単位商店街の合計でやっているわけですが、廃業をしていくとか閉じてしまうお店が少しずつですけれども増えてきています。特にこのごろ顕著にあらわれてきているなというような思いがあります。その中で特に今話が出ました肉屋さん、魚屋さん、八百屋さん、この辺の商売が非常に厳しい。アメリカサイズされた大きな郊外型のスーパーが川越にできて、川越には反対して出ないようお願いしていきますけれども、そういうところにみんな買い物に行ってしまう。

しかし、これからあと10年、20年したらみんな車を運転できなくなって近くで買わなければしょうがない、そのときまでにそういう肉屋さん、魚屋さん、八百屋さんが地元の商店街に生き延びていられるかいられないか、ここがもうぎりぎりなところで今商売をやっているんだと思うんですね。ですから、市長さんにお願いしたいのは、余りもう町中に大きなものは要らない、出てくるのだったらコンパクトなものでお願いしたい。これから10年、15年たてば必ずや川越も人口減少が起きてくるだろうと思いますので、まちを少し小さく考えていただくように、ぜひお願いしたいなと思います。

最後に、所沢の商店街連合会の会長さんが県の会合でお話したのですけれども、所沢の駐輪場を所沢商店街連合会が指定管理者になって管理していると、その収益を、商店街は賦課金がなかなか思うように取れないというようなこともあって、そういう形があるわけですが、もしそういう方向をお考えいただけるようであれば、ぜひお願いしたいなというふうに思っています。

駐輪場がいいということではないですけれども、何か市で管理をしているもので、この間ちょっと新聞に指定管理者を募集していますというのがあったそうですけれども、私はちょっと忙しかったので見逃しちゃったものですから、そういうようなことで商店街連合会としてエントリーして可能なかどうかというのが私にはわからないものですから、その辺もお願いしたいと思います。以上でございます。

川合市長 最後の件については、指定管理者は必ずしも法人でなくてもよかったのかどうか、個人でもよかったのかどうか。

意見 いや、法人にもなっています。

川合市長 法人であれば問題ないと思います。今、駐輪場などは公募という形にしていますので、ただ、去年でしたか公募で決めましたが、期間が多分3年から5年ぐらいなので、公募はその次になりますね。

意見 今年はまだ決まったんですね。

川合市長 3年から5年ぐらいの期間がありますので、その先でないと駐輪場に関する指定管理者の応募は受け付けないということになりますね。

ほかの施設についての指定管理者も原則公募でやっていますから、しかもその情報は広報などで流しますので、ぜひ応募していただいて取っていただくという、そういう形での活性化も考えていったらよろしいかと思います。

それ以外の点につきましてはご要望として伺っておきます。

本日は、本当に活発にいろいろなご意見を頂戴しましてありがとうございます。行

政のほうとしても大変参考になる、あるいは考えなければならない問題が多々ございまして、できる限り取り入れていきたいというふうに考えております。

このタウンミーティングの場に限らず、いろいろなご意見やご要望がございましたら、例えば市民意見箱あるいは直接要望という形でおいでいただくとか、いろんな方法がございますので、それはもう活発にいろいろご意見を出していただいたほうが市としても大変ありがたく助かります。

いずれにしましても、この地元、自分の住んでいるこの川越というまちをどうやってさらに元気づけていけるか、そういうようなことを行政としても一生懸命考えていきたいと思っておりますし、皆様方のお知恵もおかりしたいというふうに考えておりますので、これからもどんどんいろんな活発なご意見をよろしくお願いします。本日はどうもありがとうございました。